



津雲・生島間開通

生活道路がより便利に！

3月25日(木)、県道萩三隅道路の津雲・生島間の改良工事が完了し、開通式が現地で行われました。開通式は、津雲と生島の両自治会が主催したもので、南野市長ら来賓と地元関係者約30人が出席しました。南野市長は、「この道路は、津雲・生島地区にとって身近な生活道路。開通が両自治会

の発展に寄与するものと期待します」と祝辞を述べました。そして、テープカットとくす玉割りが行われ、全員で完成を祝いました。その後、生島橋の銘板の文字を揮毫した明倫小学校の中本遼太くん、原田風河くん、白井優衣さん、齋藤加奈恵さんに感謝状が贈られました。



国体成功へキックオフ！

俵山国体ラグビー会場改修完成記念式典



4月17日(土)、来年に迫った「おいでませ！山口国体」で少年男子のラグビーフットボール会場となる予定の、俵山多目的交流広場の全面改修が完了し、完成記念式典が現地で行われました。式典には、南野市長をはじめ西村副知事など約60人が出席、南野市長は、「国体を成

功させ地域の活性化の拠点として活用したい」と述べました。そして、テープカットの後、ゴールキック始球式や、「ちよるるフレンズ」のダンスが披露されました。式典終了後、完成したばかりの天然芝の「ふれあい交流広場」で、第53回中国高校ラグビー大会の県予選が行われました。



▲向津具中学校



▲大畑小学校



▲伊上小学校

▼渋木児童館



大畑小・伊上小・向津具中閉校、渋木児童館閉館

思い出は私たちの心の中に

3月27日(土)に向津具中学校の、3月28日(日)に大畑小学校の、3月29日(月)に伊上小学校の閉校式がそれぞれ行われました。式典では、児童や生徒が学校での思い出や感謝の気持ちを述べた後、校旗の返納が行われ、校旗が学校から教育委員会へ、そして最後に南

野市長が受け取りました。式典が終わると、記念碑の除幕が行われたり、みんなで記念撮影をしたりしました。3月28日(日)には、渋木児童館の閉館式が行われ、子どもたちはお礼の歌「さよならぼくたちのじどうかん」を元気いっぱいに歌いました。



里山ステーション俵山開所式



まちづくりの拠点が完成

4月3日(土)、里山ステーション俵山の開所式が行われました。開所式には、南野市長をはじめ関係者約100人が出席して完成を祝いました。南野市長は、「俵山は県内でも先進的な取り組みをしていることで有名。市としてもできるだけ支援していく。施設の運営・管理についてよろしくお願ひします」と述べました。

式典の終了後、橋の銘板の取り付け式が行われ、俵山中学校の大谷沙也加さんが「交流の翔橋」と書かれた銘板をポルトで橋に固定しました。その後、南野市長や俵山幼児園児が施設の前でテープカットをし、館内で俵山子ども歌舞伎「五人三番叟」や俵山幼児園児の踊りなどのアトラクションが行われました。



共同実習船「海友丸」就航記念式

全国最大規模の実習船

4月18日(日)、水産高校で共同実習船「海友丸」の就航記念式が行われ、二井知事ら約250人が出席しました。この実習船は山口・福岡・長崎3県の水産高校が共同で使用するために新造されたものです。記念式で二井知事は「海友丸は、実習船としては全国最

大の規模で、安全性や居住性に優れています。同じ夢を持つた他県の生徒と絆を深め、切磋琢磨しながら成長してください」とあいさつ。生徒会長の熊谷隼一さんは、「海を舞台に友情を深めながら、実習をがんばっていききたいです」とお礼を述べました。



大津緑洋高校開校準備室設置

来年4月1日に開校予定

4月1日(木)、山口県立大津緑洋高等学校の開校準備室設置式が、大津高等学校で行われました。県教育委員会の田邊恒美教育長から、大津高等学校の原田剛校長に準備室の看板が手渡され玄関前に取り付けられました。来年春の開校に向けて準備が進められます。

三隅川で稚鮎を放流

大きく育って帰ってきてね

4月10日(土)、三隅川で稚鮎の放流が行われました。これは三隅地域環境パートナーシップ会議が、川の環境保全活動の一環として毎年この時期に行っているものです。この日は三隅川河川公園をメインに9カ所で、あわせて約1万匹の鮎の稚魚が放流され

ました。河川公園には約40人の子どもたちが集合。「三隅川をきれいにします。ゴミは絶対に捨てません」と誓いの言葉を言った後、体長7〜8cm程度に育った稚魚を一齐に放流しました。子どもたちは元気に川を泳ぐ鮎の姿を楽しそうに見つめていました。



住民と観光客の交流を

宇津賀多目的交流館が設置

3月31日(水)、宇津賀多目的交流館の看板設置式が行われました。これは旧宇津賀保育園を再利用したもので、三村建治東後畑自治会長と、宍村龍夫市民福祉部長(当時)によって看板が設置されました。今後は、住民や観光客の交流の場として使われます。



長門の People

優れた技術と高い機動力をもって事件や事故に対応し、市民の安全を守る交通機動隊。その中でも経験豊富な4名のベテラン白バイ隊が、今年度から長門警察署に配属されました。4月6日(火)に出発式が開かれました。管轄は長門、萩、小串、美祢の4署管内です。「白バイ警官に志願したのは、やはりあこがれていたからです。でも、とても厳しい訓練や試験をクリアしなければなりません」と振り返るのは、白バイ隊のリー



白バイ隊出発式

ちょっと小耳に

優れた技術と機動力 白バイ隊が出動

長門警察署兼交通機動隊

ダーで巡査部長の高東敏道さん。交通事故について尋ねると、「ほんの少し、安全確認や交通マナーに気をつけることで、多くの事故を防ぐことができます。パトロールをしながら呼びかけていきたいですね。長門市の皆さんに声をかけてみると、協力的な人たちが多くてうれしく思っています」と話されました。さらに「とても広い地域を担当するのでやりがいを感じています。白バイの機動力という持ち味を生かした取り締まりで、悲惨な交通事故を一つでも減らしていきたいです」と意気込みも語られました。白バイ隊の今後の活躍に期待が高まります。

地域に貢献したい!

境田 さつきさん(JA長門大津勤務)

熱血! 新鮮力

※仕事は 営業部の金融共済課に所属し、主に窓口業務を担当しています。振り込みの手続きなど、お客様の

お金を扱う仕事が多いので、何度もチェックしてミスをすることがないように気をつけています。また、お話をしっかり聞いて、お客様の要望にできる限り応えられるように努力しています。

※趣味は 日本舞踊です。6歳の頃からずっと続けてい

て、今年で13年目になります。今でも毎週練習に通っています。好きなタイプは、誠実で、しっかりした年上の人が好きです。

※自由は 一言 一生懸命勉強し、早く一人前になって、職場や地域に貢献したいと思っています。地域の人のちとのふれ合いの中で、いろんな事を学びたいと思っていますので、今後もしっかりお願いします。

※自由は 一言 一生懸命勉強し、早く一人前になって、職場や地域に貢献したいと思っています。地域の人のちとのふれ合いの中で、いろんな事を学びたいと思っていますので、今後もしっかりお願いします。



後列左から横田尚之さん、橋爪克行さん
前列左から高東敏道さん、山井学さん